

2013年12月4日

各 位

会 社 名 昭和ホールディングス株式会社  
代表者名 代表執行役社長 重田 衛  
(コード番号 5103 東証第二部)  
問合せ先 執行役財務総務担当 庄司 友彦  
(TEL. 04-7131-0181)

## 当社子会社の昭和ゴム㈱と 常盤ゴム㈱との業務提携契約締結に関するお知らせ

前略、この度当社子会社の昭和ゴム㈱は、工業用ゴム製品の代理店である常盤ゴム㈱と業務提携を行い、お互いに協力してゴム事業の再生を目指すことといたしましたので皆様にお知らせいたします。

記

### 1. 業務提携に至る経緯

昭和ゴム㈱と常盤ゴム㈱との取引は、50年以上の長きに亘り常盤ゴム㈱が、昭和ゴム㈱の代理店として活動していただく協力体制にありました。

しかしながら、当社グループのゴム事業が縮小するに伴い、15年程前から同社との取引額も減少し、低迷し続けておりました。

当社グループが新しい経営体制になったこの6年間で改めて対話を通じ、特に経営トップ同士の信頼関係が十分に積み上げられました。このことで、近年の当社グループの取り組みや当社グループの中期経営計画について常盤ゴム㈱から深い共感とご理解をいただくに至りました。

この新しい信頼関係を元に、今後は再び共に協力し昭和ゴム㈱と常盤ゴム㈱の社業であるゴム事業を発展させようという考えが一致いたしましたので、この度の業務提携契約を締結するに至りました。

### 2. 業務提携の主な内容

業務提携の主な内容といたしましては、以下の6項目となります。

1. 原材料資材製品の共同購買等を通じたコストダウンの検討
2. 販売先の相互乗り入れによる売上拡大の検討
3. 海外市場、海外仕入先の共同開拓
4. 新規商品の共同開発
5. 当社等からの常盤ゴム㈱に必要な人材の派遣
6. 常盤ゴムの財務安定への協力

これらの項目につきましては、当社子会社の昭和ゴム㈱の社業でありますゴム事業の黒字化の後押しにもなりますので、今月から計画の立案をし、可能なものから速やかに具体的活動に繋げて参ります。

なお、業務提携のスピードを上げ、その具体的な活動を確かなものとする為に、今月から昭和ゴム㈱の山口取締役が、常盤ゴム㈱取締役に着任することになりました。

山口取締役には、これまで昭和ゴム㈱の東日本の営業部門を支えていただきましたが、今後は常盤ゴム㈱の継続・発展にも尽力していただき、両社のゴム事業再興に寄与してもらうことを期待しております。

### 3. 今後の見通し

当社といたしましては、本件業務提携は、当社グループのゴム事業の再興に資するものと高く評価し、全面的に賛同しております。

業務提携を具体的に推進することで、昭和ゴム㈱の黒字化を達成し、更には、昭和ゴム㈱と常盤ゴム㈱の両社の事業を拡張・発展させていくことができることを期待し、最善の支援をして参る所存です。

今後、本件業務提携の展開でご報告すべき事項がありましたら、適宜皆様にお知らせして参ります。

引き続き中期経営計画実現に向け最善を尽くして参りますので、何卒ご理解とご支援いただけますようお願い申し上げます。

以上